

2014.05

No. 1

平成26年度
札幌保健医療大学 入学式



学長挨拶

札幌保健医療大学 学長
稲葉 佳江

平成25年4月、札幌保健医療大学は北海道の医療貢献と看護教育の発展を願い、開学致しました。このスタート地点に立つために、数多くの方々にご支援を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。

今年、本学は2年目を迎えました。昨年度は106名の1期生、今年度は105名の2期生が入学し、学内は真新しい大学に自分達の学びの伝統と文化を創る意欲と希望に満ちています。

本学は、「人間力教育を根幹とした医療人の育成」を教育理念に掲げ、この理念を体現する教育実践をめざしています。学生の一人ひとりが、人間力である「豊かな感性」「高潔な精神」「確かな知力」「他者との共存」のそれぞれの力を如何なく発揮し、一人の人間として開花し完結してほしいという願いが込められています。

看護は、人の命と心に向き合い、心身の健康と生活を全人的に援助する職業です。この責任を担う看護者には、人の生き方や日々大切にしていること、あるいは苦しみを心の目で理解し、全ての手を尽くして命と健康を守り、言葉をもって支えていくための力が不可欠です。看護する心の目、手や言葉は、看護者一人ひとりの「人間力」に左右されるものであり、看護する質を決定づけます。本学が育てる「人間力」は、人として育つ基盤となるものであり、看護者として必要な資質を育てることであります。このような人間力教育は大学の力だけでは万全といえず、保護者との協同・協力のもとに育てる営みがあって初めて実現するものと考えます。それにも増して、学生自身がどのような人間に、また看護職に「育ちたい、なりたい、I will be…」と自分の未来を描き、叶えようとする思いが最も大切です。保護者の皆さまとともに、学生と未来をつなぐ教育を実現したいと願っています。今年度は、1期生が看護職の出発点ともなる2週間の本格的な看護実習を控えています。いよいよ自己の進路を明確にし、決意する時です。また、学生が保護者と共に考える節目としてグローアップ・セレモニー（仮称、特別講演と懇談会）を計画しております。多くの保護者にご参加頂きたいと思っています。

開学もない本学において、さまざまな面で不自由をおかけしますが、数年計画の中で改善していく構想のもとに大学運営に努めております。今後も、学生とともに札幌保健医療大学の文化を創っていく所存です。

CONTENTS

学長挨拶	1
平成25年度活動紹介	2
トピックス	3
在学生の1年を振り返って	4
クラブ活動報告	5
研究紹介	6
学生支援について	7
平成26年度入試結果報告	8





平成25年度活動紹介

国際交流

アフリカのJICA研修員と国際交流セッションを行いました

平成25年9月4日、JICAの平成25年度地域別研修「仏語圏アフリカ母子保健」事業の一環で、平成25年8月中旬～9月下旬にかけて北海道大学大学院医学研究科国際保健分野と北海道大学大学院保健科学研究院で研修を行っているアフリカの母子保健研修員10名を本学にお招きし、本学教員と学生、約30名と、国際交流セッションを行いました。テーマは「生活習慣病と仏語圏アフリカの食文化」で、研修員の出身地であるコンゴ共和国、コモロ、ガボンなどの食文化の紹介や栄養バランスの特徴、生活習慣病について報告があり、最後に参加者全員でディスカッションを行いました。



FD研修会

教育力を高めるための研修会を定期的で開催

本学では、教員一人ひとりの教育力を高めるための研修を積極的に行っております。平成25年度は、FD研修会を7回、学術セミナーを5回開催しました。

今回は、外部から講師をお招きして開催した第6回FD研修会についてご報告します。

平成25年11月11日、慶応義塾大学環境情報学部教授の今井むつみ先生をお招きし、「認知学習理論を学ぶ」をテーマに研修会を開催いたしました。はじめに今井先生自身の研究分野における幼児の言語（母語）学習の特徴について講話がありました。幼児が言語を習得する過程においては、大人が外国語を学ぶのとは全く異なるプロセスで言語を習得していくことや、ベテランの航海士やプロ野球選手、一流の棋士の視点と初心者の視点の違いを例に熟達化についてなどお話しされ、どれも大変興味深い内容でした。

講話後は、これらの内容を学生への教育にどう生かすかについて、出席者から質問や感想が多数寄せられ、教職員にとって今後の教育方法を考えるうえで大きな学びとなる研修会になりました。



平成26年度の入学式を挙行しました

平成26年4月3日（木）に札幌市中央区の「かである2.7ホール（北海道立道民活動センター）」において、平成26年度札幌保健医療大学入学式を挙行しました。今年度は、2期生105名（男子24名、女子81名）が入学し、新生活に向けて期待に胸を膨らませながら入学式に臨みました。学長の式辞を一部抜粋し、以下に掲載いたします。「本学での4年間、人として、看護者として育てていく道は決して安易なものではなく、時として苦



しみ、悩み、葛藤する困難の伴うものかもしれませんが、しかし、みなさんは、この困難に挑戦し、乗り越える力をもっていると確信しています。札幌保健医療大学は、みなさんの挑戦を見守り、全力で支援します。教職員のみならず、みなさんの先輩である1期生もみなさんとの大学生活を心待ちにしています。1期生は、学業に、そしてサークル活動に勤しみ、明るく関連な学生生活を送っています。これからは、先輩とともに本学の伝統と学びの文化を創って行って下さい。今日は、本当におめでとうございます。」という温かな言葉が贈られ、看護師をめざす新入生のみなさんは心を新たにしていました。

札幌保健医療大学後援会の役員が選出されました

入学式後に行われた後援会定期総会において、今年度の役員5名が選出されました。また、平成26年度の後援会事業計画案が報告され、以下の3案が承認されました。①大学の教育活動に対する協力として一般教養分野の図書購入費の助成、②学生の福利厚生および課外活動等に対する協力として、大学祭やクラブ活動費の助成、③学生の父母または保証人との教育指導上の連絡として、保護者懇談会を実施することです。人間力豊かな看護職の育成を目指し、学生の教育活動に邁進いたしますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

平成26年度後援会役員

役職	氏名
会長	神谷英孝
副会長	松本貢
理事	林 るみ子
監事	鈴木篤
	三村勇司



トピックス



2年生の栢谷さんが人命救助で 札幌市消防局から感謝状を授与！

平成26年4月8日（火）、看護学部看護学科2年の栢谷晴香さんが人命救助で札幌市消防局から感謝状を授与されました。2年次のガイダンス前に行われた表彰式では、札幌市消防局の方をはじめ、学長や教職員、2年次の学生全員で栢谷さんの勇気ある行動を称えました。

平成25年11月13日（月）、栢谷さんが札幌市中央区の飲食店で食事をしていたところ、店主から店先で男性が倒れていることを聞きました。栢

谷さんが駆けつけるとその男性は心肺停止の状態、栢谷さんはすぐに心臓マッサージを開始するとともに119番通報をしました。その後到着した救急隊により蘇生した男性は無事に病院に運ばれ、現在退院し、社会復帰されているそうです。

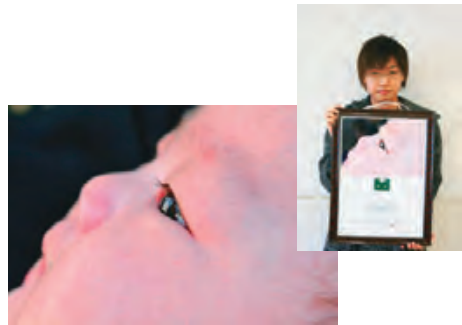
医療人をめざす者として立派な行動を果たし、冷静沈着な判断で人命救助に大きく貢献した栢谷さんに敬意を表します。



写真部の宮澤さんが 第32回学生写真道展で入選しました

看護学部看護学科2年の宮澤真澄さんの作品が、北海道内の高校や大学、専門学校の学生を対象とした第32回学生写真道展（北海道新聞社、北海道写真協会主催）において、応募総数1033点の中から見事入選しました。タイトルは「瞳」で、

生命の誕生、力強さを感じさせる作品です。今後は、学内行事の撮影なども積極的に行い、写真部の活動の場を広げていきたいと語ってくれました。



モエレ沼地区の地域住民との 交流会を開催

札幌保健医療大学は、地域に根ざし、地域に拓かれた大学でありたいと考えております。本学の教育理念である「人間力教育を根幹とした医療人の育成」を達成するためには、地域住民の方のご支援ご協力がなければ成り立ちません。このことから、本学を身近に感じていただくことを目的に、平成25年12月15日（日）に地域交流会を開催しました。本学の理念や教育内容の紹介、教職員紹介のほか、看護領域のデモンストレーションを体験していただくこと3つのプログラムを用意。基礎看護学では「インフルエンザ予防の手洗い」、成人看護学では「いざという時の救急救命」、高齢者看護学では「高齢者の健康体操」などを体験して頂きました。その後に校舎見学、教職員との交流を行い、学生への温かい支援をお願いしました。



札幌保健医療大学の 校歌が完成しました！

平成26年3月に待望の校歌が完成しました。本学の校歌は、タイトルも「WILL」とするなど「校歌」という雰囲気で作成せず、本学の教育理念でもあります、「豊かな感性」、「高潔な精神」、「確かな知力」、「他者との共存」を美しいメロディで表現することを第一義とし、作詞を「三浦徳子」さん、作曲を「S.E.N.S」という大変著名なお二組にご依頼いたしました。

お二組には本学の理念をご理解いただき、本学にぴったりの校歌が完成しました。

校歌は本学HPで聴くことができます。



在学生の1年を振り返って

2年 松本 悠



私が1年間を振り返って感じたことは2つあります。一つ目は、責任感の重要性です。看護大学ということもあり、記録物やレポート課題が多く課されます。その一つひとつに提出期限があり、期限を守るのは正直大変ですが、提出期限や時間を守って自分自身で管理するという事は、将来看護師として働くうえで1番必要不可欠なことであると実感しました。

二つ目は、友達や演習のグループ同士で情報を共有することの大切さです。1年生の授業では、看護技術総論の演習があり、初めは何もわからずただ時間だけが過ぎていくような感じでした。しかし、友達やグループの人達と放課後や授業のない空き時間を利用して、演習の復習・実技試験の練習をし、毎回たった1度きりの演習の時間を無駄にしないように精一杯努力するなかで、「もっとこうの方が安全で安楽なケアに繋がるのではないか」、「ここは違うと思う」などみんなで意見を出し合い情報を共有することができました。自分だけでは気づけないところまでたくさん知ることができて、より深く学べた1年になったと思います。

2年 了輪 在夏



平成25年7月29日から8月1日まで、病院実習に行ってきました。実習では看護師さんの後ろについて、清拭や車椅子への移乗と移動、寝衣交換やトイレの援助等、看護師と患者さんとの関わりについて見学させていただきました。

その中で、看護師が患者さんに必要なケアの全てを援助するのではなく、出来ることは自分自身の力でやっていただくことの大切さに気づきました。それは、看護師さんが患者さんの出来そうなことと出来ないことを見極め、出来そうなことに対しては少しの援助を行うだけで出来るようになったことを実際に見ることができたからです。

また、患者さんが悲観的になった時に、看護師さんが患者さんに以前よりも病状が改善していることをしっかり伝えて励ます姿を見て、毎日の変化を捉える必要性和励ましの大切さについて間近で経験することができました。

4日間の実習では、この他にも沢山の経験をしましたが、この実習で学んだことを生かして2年次にも役立てていけるよう、日々の講義や勉学に精一杯取り組みたいです。

2年 星野 貴輝



私がこの一年間で最も印象に残ったことは、体育大会や新入生歓迎会などの行事です。私は、各行事で実行委員会の委員長をやりました。1期生なので今までの実績や手順がなく、すべてが一からのスタートで企画の段階から多くの困難や戸惑いがありました。しかし、実行委員会を中心に準備を進めていく中で、他人と協力して一つの行事を作り上げていくことに楽しさを感じるようになりました。結果として、教職員の方など多くの方にも協力してもらい、学外研修も新入生歓迎会も大成功に終わりました。参加した人から、「楽しかった、ありがとう」などと言ってもらえて実行委員会をやって良かったなと思いました。そして、これらの行事を通して学んだことがたくさんあります。大学には教職員や学生など色々な人がいます。その中で、委員長の自分が背負う責任や、他人と協力し合い一つの物を作る楽しさ、難しさなどがまだまだたくさんありますが、大学で学ぶことは勉強だけではないと私は思います。多くの人が参加するこれらの行事の実行委員に携われた経験は、将来的にも必ず役に立つと思っています。

1期生学年担任 としての 1年を終えて



学年担任教員 高橋 順子

昨年4月に新入生だった1期生と初めて会った時、その屈託のない明るさと元気に圧倒されたことを思い出します。新しい生活への大きな希望とほんの少しの不安を抱えてスタートした大学生活でしたが、たくさんの「はじめて」を体験し、学生たちは大きな変化を遂げました。一丸となって取り組んだ体育大会、真新しい白衣で臨んだ病院実習等、学生個々の成長に惜しみない協力をしてくださった方々によって、全員が一回りも二回りも大きくなったように思われます。また、1期生の行動力は常に、札幌保健医療大学の歴史を

作っていくという強い自覚に支えられてきたように感じられました。そのたくましい姿を私たち4人の担任はほほえましく、そして時にまぶしい思いで見守ってきました。

「行動が変化することを学習と定義する」という考え方があります。その意味において1期生はこの1年間で着実に学びを積み重ね、学習したのだと強く感じます。初めての後輩を迎え、1期生がさらにどのような成長を見せてくれるのか、担任一同とても楽しみにしています。



平成25年6月、札幌市東区にある屋内スポーツ施設「つどーむ」で体育大会を開催しました。実行委員の学生が中心となり、企画から当日の運営までを行いました。競技種目には、綱引き、ソフトボール、チーム対抗リレーなど多彩な種目が用

意され、学年お揃いのポロシャツで競技に挑みました。4チームに分かれての対抗戦はどの競技も白熱し、笑いあり、感動あり、みんなが一体となって大いに盛り上がりました。今年度は9月に体育大会の開催を予定しています。

クラブ活動報告

本学のクラブ活動について

本学では、人間力のある看護職の育成をめざしており、クラブ活動は学生たちの人間形成の成長に大きな役割を担っていると考えています。開学1年目から学生たちが自主的に行動し、既に体育系7団体、文化系4団体の愛好会が立ち上がりました。2期生を迎えた今年度はさらに団体が増え、より活発な活動が期待されます。



B.S.ball

B.S.ballは野球とソフトボールの両方を楽しむことを目的として活動しています。また、個人でやりたいことがあれば、野球・ソフトボール以外でも構いません。自由なサークルで、皆が楽しむことを尊重しています。まだ女子のみですが、今後は男子部員も増えるよう活動を頑張っていきたいと思っています。部員のほとんどが初心者なので、練習は基礎からメニューを組みます。無理をしない程度に、身体を鍛えるためランニングや筋トレも行います。何よりもまずは楽しむことを大事にやっていきますので、興味のある方は、どなたでも大歓迎です。

バスケットボール

私たちバスケットボール愛好会は、男女約20名で週1～2回のペースで活動しています。練習メニューは、プレイヤーたちが力尽きるまで何セットもゲームを繰り返すのみとなっています。昨年創部されたばかりなので、今はこのようなメニューとなっていますが、新一年生が入部してきた際にはチーム内で話し合い、基礎からの練習も取り込んでいきたいと思っています。経験者はわずか5名ほどで、男子をはじめほとんどが初心者で構成されています。バスケットボールが好き！上手になりたい！という方であれば、どなたでも歓迎していますので、是非一度、体育館へのぞきに来てくださいね・・・

陸上

私たち陸上愛好会は、部員12名という少ない部員数ではありますが、皆で協力し合いながら活動しています。主な活動場所は、本学の近隣にある「モエシ沼公園」や「つどーむ」です。昨年度は、札幌ドームで行われた6時間リレーマラソンに参加する等、活発な活動をしています。陸上競技を通じて仲間との親睦を深め、より大きな結束をつくり上げていきます。大きな目標としては、大学の講義では学ぶことのできないものを陸上愛好会で見出し、個人としてチームとして成長することです。勉強と両立しながら、大学生活を楽しんでいます。

バドミントン

私達バドミントン愛好会は、「楽しい」ことを念頭に置いて活動しています。バドミントン経験者は少ないですが、皆の仲が良く先輩男女問わず優しいので、初心者でも参加しやすい環境と雰囲気だと思います。活動日は決まっていますが、毎週火曜日に活動することが多いです。看護学科に入学する際、勉強や人間関係などいろいろなこと不安を抱えている人が多いと思います。特に男子はこの悩みを抱えている人が多いでしょう。バドミントンが特に好きじゃなくても、相談相手や欲しい人や友達作りのきっかけという理由で参加してもらっても構いません。運動が苦手な人や人付き合いが苦手な人も、一度見学に来てみてください。

バレーボール

バレーボール愛好会は、男女混合で活動しています。経験者は数人しかいませんが、初心者の人に経験者が教えながら日々練習しています。本格的な練習ではなく、皆で楽しくバレーボールができるように活動しているのです。小、中学校の時だけの経験者や初心者の方も大歓迎です。活動を始めて2年目で、まだまだ至らない所が多くありますが、全員で協力しながらレベルの向上を目指しています。将来的には札幌保健医療大学として大会に参加し、歴史に残る成績を収めたいと思っているので、沢山の後輩達がサークルに参加し、全員で楽しみながら目標を達成できたら嬉しいです。新入部員待ってまーす。笑

B-girls

B-girlsは、自由な形で皆で楽しくダンスを踊ろうというサークルです。ダンス経験者も部員の中にはいますが、ほとんどが初心者です。皆で教え合いながら、振りなども全て自分達で考えています。主に、大学祭の有志ステージで日頃の練習成果を披露するために活動をしています。週1～2回の活動なので、バイト等との両立は心配いりません！ぜひ皆と一緒に楽しく踊りましょう！

E☆sis

私たちE☆sisは、夏は外で野球やサッカー、冬は体育館でバスケットボールやドッチボールなどを週に1回程度行っています。また、長期休みの間はスノーボードや海水浴なども計画しています。季節に合ったスポーツ、全員で楽しめるスポーツを通してサークルメンバー間の仲を深めています。定期試験が終わった時などは、全員で「おつかれサマ」としてご飯を食べに行ったりもします。入学時から1年間活動をして、徐々にメンバーの仲が深まってきているように感じます。活動する時は全員積極的に参加してくれるので、とても楽しいです。

IVY

私たちは、国際交流・ボランティアサークルです。IVYは花言葉で「友情」。世界の人々との繋がりを広げています。主な活動は、外国語ボランティアや地域ボランティアです。英語ができなくても心配はいりません！皆で英会話も練習しています。また、夏休みには実際にインドネシアへ行き、看護について学んだり異文化交流をする予定です。さらに、IVYのメンバーでお花見、鬼ごっこ、バーベキューなども企画中！！個性豊かなメンバーで和気あいあいと活動しています。

軽音楽

初めまして、軽音楽です。私たちは現在、男子6名、女子6名の計12名で活動しています。今年度行われる大学祭での演奏を目標に日々頑張っています。もちろん、大学祭が終わった後も活動は続けていき、定期的にライブにも出演したいと考えています。軽音楽サークルのメンバーはとても個性豊かで、大学で会うと立ち話が止まらない勢いです。常に音楽の話をしているほどみんな音楽が大好きで、話題が尽きません。こんな感じで楽しくやっています。

礼保写真

礼保写真愛好会の主な活動は、個人での作品作りです。春夏秋冬には、部員合同で大学外での撮影会を行っています。また、学生写真展をはじめとする写真コンテストにも積極的に出展しています。それぞれの感性を生かし、人に深い印象を与えられる写真を撮るとい目標のもと、撮影を通して人との関わりの大切さを学び、コミュニケーションをとることを大事に活動しています。写真は自分の世界観を表現できるだけではなく、たくさん笑顔に出会うことのできるとも楽しいものです。初心者の方も経験者の方も一緒に素敵な写真を撮りませんか？

文芸

文芸愛好会は現在、毎月テーマを設定しそのテーマについて語り合う、ブックトークを中心に活動しています。その他にも、長期休暇を利用して各自が執筆活動を行い、その作品を元に部誌の発行も行っています。本が好きなら部員だけでなく、興味はあるけれど自分から進んで読まないという部員や、映画が好きという部員まで様々な考え方の部員が仲良く活動しています。

学友会長のあいさつ

看護学科2年
平田 佳菜



みなさんは学友会という組織をご存知でしょうか？私たちは、4年間のキャンパスライフをより豊かにするための活動を行っている学生による学生のための組織です。

私たちはすべての活動を一から作り上げ、予算や日程などを自分たちで組み立てるという大変ハードな活動をしています。しかし、大変だからこそ、自分たちで計画を練った企画が成功した時

の喜びや達成感は、今まで味わったことがないほど最高です！

そんな私たちの主な活動内容は、学生総会や各イベントの主催、学校生活の改善などです。学友会の設立が昨年度とまだ日が浅いため活動内容は薄いですが、私たちのこれからの活動と活躍を期待してください。

今年から本格的に活動しており、今年度の新入

生歓迎会は無事に成功しました。現在は、札幌保健医療大学の2大イベントである大学祭、体育大会に向けて盛り上げるために日々努力し、計画を練っています。みなさんの札幌保健医療大学での学生生活が充実するよう、これからも精いっぱい頑張ります。

研究紹介

make a study!



看護学部看護学科
講師
小野 善昭



わが国では年間3～5万人が心臓突然死で死亡しています。これを救うためには、一刻も早く心肺蘇生を開始し、自動体外式除細動器（以下、AED）を用いて、電気ショックをかける必要があります。AEDの設置は拡がりつつありますが、AEDを用いた心肺蘇生を行うことのできる人が増えなければ心停止の人を救うことはできません。

心肺蘇生の中には口対口の人工呼吸を行うことが含まれていますが、難しかったり、

口と口をつけることに抵抗を感じて心肺蘇生自体を躊躇することがあります。このような中で、2010年に改訂された心肺蘇生ガイドラインをもとに、アメリカ心臓協会（AHA）や日本循環器学会では「押すだけの心肺蘇生」の普及を進めています。

昨年度から本学の学術奨励研究費助成を頂き、「押すだけの心肺蘇生トレーニングボックス」を用いた講習の開催と参加された方の心肺蘇生講習会受講に関する経験や意識についてアンケート調査を行っており

ます。その結果から今後の心肺蘇生に関する普及・啓蒙・教育の方策を考えて行きたいと思っております。

平成25年度は大学近隣の町内会の方に協力頂き、講習会を開催しました。今後も多くの方が心肺蘇生の基本的な技術が体験できるように活動していきたいと思えます。町内会や職場で本講習を希望される方がいらっしゃいましたらご一報いただければ幸いです。



2014年2月27日
NY コロンビア大学
キャンパス内にて

看護学部看護学科
助教
大竹 沙織



私は「助産の歴史」をテーマに研究を行っており、昨年度より、「文部科学省科学研究費助成事業」を受けて、連合国軍最高司令官総司令部（以下GHQ）による占領政策時に制定された保健婦助産婦看護婦法の制定過程を研究しています。

占領期の研究を行うにあたり、当時の日本側の史料には限りがあるため、アメリカに残されているGHQ側の文書から日本の法律の制定過程を分析することを試みています。現在はGHQ文書の多くが東京国立

国会図書館で閲覧できるようになりました。しかし、まだ日本では入手できない史料がアメリカ各地にあり、本年2月から3月にかけてアメリカ、ニューヨーク市にあるコロンビア大学、ニューヨーク市郊外にあるロックフェラー財団図書館、ワシントンDCにあるアメリカ国立公文書記録管理局で史料調査を行ってきました。アメリカにおける調査ではGHQ文書の他当時のGHQ看護リーダーたちの手紙や日記などの貴重な史料を入手することができまし

た。また、各施設では、同じくアメリカで終戦後の史料収集を行っているドイツの研究者やカナダの歴史研究者たちと交流する機会を得て、各国の史料収集や研究調査に関する情報交換を行い、良い学びとなりました。今後はこれらの史料の分析を行い、国際的な視点を取り入れ、日本のより良い看護制度の発展のため研究を重ねていきたいと思います。

学生支援について

キャリア・就職支援

学生にとって就職活動は初めての経験ですので、疑問や悩みが多いかもしれませんが、本学では教員と一緒に考え、学生たちが社会人として踏み出せるようにしっかりサポートします。

看護職ガイダンスなどを通じて早い時期から自分自身のキャリアについて考え、目標をもてるよ

うに支援するほか、国家試験対策や大学院進学など卒業後のキャリアアップに向けた相談・指導も行います。また、キャリア支援計画に基づき、キャリア支援担当教員や学年担任を中心とする専任教員、就職担当の事務職員が協力し、以下の学生指導に取り組みます。

看護職ガイダンス

2年次に、保健師、助産師、看護師として現場で働く方から実際の仕事についてお話いただき、体験談等を通じて進路を考えてもらいます。

進路・就職に関する個別指導・相談

学生が自ら進路・就職を選択し決定できるように、情報の収集と伝達を行いながら、随時個別指導を行います。

国家試験対策講座

2年次からの低学年模試を皮切りに、国家試験合格のための学生による自主自立した学習体制を教員が支援します。弱点科目は補講で克服します。

進学・就職のための試験対策講座

就職試験や進学のための入学試験の時期が早まっていることを受け、3年次後期から試験対策講座を行いサポートします。

学生相談

本学では学生が学生生活を送るなかで生じる学業や進路、人間関係などの悩みに対して、次の相談窓口を設置し相談・助言にあたっています。

学年担任

学生の最も身近な助言者として学年担任を置き、困ったことや悩みなどを一人で抱え込まずに打ち明けられる体制を整えています。

オフィスアワー

学生が気軽に教員へ相談できるよう、研究室などを一定時間開放し、授業や学業、学生生活や進路相談に関して相談できる体制を整えています。

学生相談室

専門のカウンセラーが定期的に来校します。学生の直面する悩みについて相談に乗り、アドバイスを行いながら問題の解決にあたります。

ハラスメント相談員

ハラスメント相談員をおき、ハラスメントの防止に努めています。プライバシーと人権に配慮し、相談にあたります。

保健師教育について

本学では、定員100名のうち20名が選択制で保健師国家試験受験資格を取得することができます。保健師をめざす学生は、3年次前期に選抜があります。選抜基準は「保健師への興味・関心及び学習意欲が認められること」、「2年次までに必修科目のすべての単位を取得し、全科目の成績評

価においてGPAが2.5以上であること」などです。選抜された学生は、3年次後期から開講される公衆衛生看護学に関する科目および指定する科目について学びます。それらの科目の単位を修得した人は、保健師の国家試験受験資格を取得することができます。

札幌保健医療大学 学業成績優秀者 給付奨学金について

本学では、学力、人物ともに優秀で他の学生の模範となる学生を選考し、学生の経済的負担の軽減と看護専門職の育成を目的とした授業料減免型の給付制奨学金を支給します。人数は若干名で、

該当者は後期の授業料の一部が免除となります。卒業後においても返還の義務はありません。学業成績優秀者(若干名)の決定は6月を予定しており、後期の授業料数十万円が免除となります。

平成26年度 入試結果報告

今年度の志願者総数は308名でした。倍率等は以下のとおりです。

入試形態別志願者・受験者・合格者・入学者数

入試区分	募集人数	平成26年度				
		志願者	受験者	合格者	入学者※	倍率
推薦	50	47	47	39	39	1.2
一般Ⅰ期	45	230	221	90	60	2.5
一般Ⅱ期	5	31	27	5	6	5.4
合計	100	308	295	134	105	2.2

※入学者：一般Ⅰ期・Ⅱ期は追加合格者含む

平成27年度 入試概要

平成27年度入試より、大学入試センター試験利用入学試験を導入します。これにより入試区分が5つになり、推薦から受験するとチャンスが5回に広がります。

センター利用入試と一般入試は併願ができ、一般入試の検定料は3万円、センター利用入試の検定料は1万円です。詳細は、5月下旬に発行する平成27年度学生募集要項でご確認ください。

平成27年度 札幌保健医療大学看護学部 入学試験概要

学 科	定 員	募 集 人 員				
		推薦入学試験 (公募・指定校)	一般入学試験		センター利用入学試験	
			前 期	後 期	前 期	後 期
看護学科	100名(男・女)	45名	40名	5名	7名	3名

【入試日程等】

種別 項目	公募制推薦入学試験 指定校制推薦入学試験	一般入学試験		大学入試センター試験利用入学試験	
		前 期	後 期	前 期	後 期
出願期間	平成26年11月1日(土) ～11月10日(月)必着	平成27年1月6日(火) ～1月26日(月)必着	平成27年2月16日(月) ～3月9日(月)必着	平成27年1月6日(火) ～1月26日(月)必着	平成27年2月16日(月) ～3月9日(月)必着
試験日	平成26年11月15日(土)	平成27年2月4日(水)	平成27年3月13日(金)	個別面接試験 平成27年2月5日(木)	個別面接試験 平成27年3月14日(土)
合格発表日	平成26年11月21日(金)	平成27年2月12日(木)	平成27年3月18日(水)	平成27年2月12日(木)	平成27年3月18日(水)
試験科目 記 点 時 間	(1)小論文試験 60分 (2)個人面接試験 ○公募制の出願資格 ・評定平均値3.5以上 ・現役で本学専願 ○指定校制推薦入学試験※1	【学科試験科目】 3科目300点満点(1科目60分) 1.必須科目 (1)国語：「国語総合 (近代以降の文章)」 (2)英語：「英語Ⅰ・英語Ⅱ」 2.選択科目【3教科4科目から1科目 選択】 (1)数学：「数学Ⅰ(データの分析を 除く)・数学A(整数の性質を除 く)」 (2)理科：「生物基礎」または「化学 基礎」 (3)社会：「政治・経済」 【面接試験】(必須) ・集団面接試験	【学科試験科目】 3科目300点満点(1科目60分) 1.必須科目 (1)国語：「国語総合 (近代以降の文章)」 (2)英語：「英語Ⅰ・英語Ⅱ」 2.選択科目【2教科3科目から1科目 選択】 (1)数学：「数学Ⅰ(データの分析を 除く)・数学A(整数の性質を除 く)」 (2)理科：「生物基礎」または「化学 基礎」 【面接試験】(必須) ・集団面接試験	【大学入試センター試験科目】 3科目300点満点 1.必須科目 (1)国語：「国語(近代以降の文章)」 (2)英語：「英語(リスニングテスト 含む)」※2 2.選択科目【4教科8科目から1科目 選択】※3 (1)数学：「数学Ⅰ・数学A」 (2)理科： ・理科①：「生物基礎・化学基礎・物 理基礎」から2つの基礎科目を選 択し、1科目として取り扱う ・理科②：「生物」、「化学」、「物理」 (3)地歴：「日本史B」、「世界史B」 (4)公民：「政治・経済」 【面接試験】(必須) ・個人面接試験	【大学入試センター試験科目】 3科目300点満点 1.必須科目 (1)国語：「国語(近代以降の文章)」 (2)英語：「英語(リスニングテスト 含む)」※2 2.選択科目【4教科8科目から1科目 選択】※3 (1)数学：「数学Ⅰ・数学A」 (2)理科： ・理科①：「生物基礎・化学基礎・物 理基礎」から2つの基礎科目を選 択し、1科目として取り扱う ・理科②：「生物」、「化学」、「物理」 (3)地歴：「日本史B」、「世界史B」 (4)公民：「政治・経済」 【面接試験】(必須) ・個人面接試験
試験場※4	本 学	札幌、帯広、函館	本 学	札幌、帯広、函館 (個別面接試験)	本 学 (個別面接試験)
入学検定料	30,000円	30,000円	30,000円	10,000円	10,000円

※1 指定校制推薦入学試験の受験資格、選考方法等は、指定校(高等学校)に直接通知します。

※2 大学入試センター試験利用入学試験の「英語」の得点は、100点に圧縮して合否判定に使用します。

※3 大学入試センター試験利用入学試験の選択科目については、(1)数学、(2)理科、(3)地歴、(4)公民において、2教科・2科目以上受験した場合は、高得点の教科・科目を合否判定に使用します。

※4 試験場については、(1)本学：札幌保健医療大学【推薦入学試験(公募制・指定校制)、一般入学試験後期、大学入試センター試験利用入学試験後期】
(2)札幌：札幌コンベンションセンター【一般入学試験前期、大学入試センター試験利用入学試験前期】
(3)帯広：ソネビル本館【一般入学試験前期、大学入試センター試験利用入学試験前期】
(4)函館：函館市勤労者総合福祉センター(サン・リフレ函館)【一般入学試験前期、大学入試センター試験利用入学試験前期】

年間行事	月	内容
	4月	入学式、新入生歓迎会
	5月	開学記念日
	6月	大学祭、第1回オープンキャンパス
	7月	看護基礎実習Ⅰ(1年次)
	8月	第2、3回オープンキャンパス
	9月	前期定期試験、体育祭
	10月	第4回オープンキャンパス
	11月	
	12月	看護基礎実習Ⅱ(2年次)
	1月	
	2月	後期定期試験
	3月	第5回オープンキャンパス

編集後記

この度、本学の広報誌第1号「WILL」が発刊の運びとなりました。今後も、学生たちの大学での学びの様子をホームページや広報誌からお伝えしていきたいと思ひます。開学1年目の平成25年度は、教職員も学生も札幌保健医療大学の大切な土台づくりの年という思いが強く、教育・学習・諸活動など、日々

試行錯誤しながら取り組んできました。そして平成26年度に2期生105名を迎え、本校校舎内は学生たちの声が溢れ、これまで以上に活気づいております。

今年度も、学生一人ひとりが将来、社会人として専門職業人として美しく輝くための基礎づくりのために、教職員一同さらなる教育の充実をと励んでおります。学生たちが本学で逞しくしっかりと学び、学生生活を謳歌できますよう、みなさま温かい応援をよろしくお願ひいたします。 広報委員編集担当